

平成26年度第2回社会基盤委員会



平成26年10月29日(水)広島市において、古瀬委員長をはじめ36名の委員の出席のもと社会基盤委員会を開催した。

当日は、議事に先立ち、国土交通省 中国地方整備局 道路部長 野田 勝氏から「道路に関する最近の動向について」と題し、ご講演いただいた。

引き続き議事に移り、平成26年度上半期の委員会活動状況報告および平成26年度交通基盤の整備促進に向けた要望活動についての審議を行った。

1. 講演

○演題 道路に関する最近の動向について

○講師 国土交通省
中国地方整備局
道路部長
野田 勝氏



○概要

最初に、平成27年度予算については、「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」、「地方の創生、人口減少の克服」、「成長戦略の具体化」の4分野を重点化する基本方針で概算要求を行っていくとの説明があった。

次いで、公共事業の執行状況、トンネル・橋梁等をはじめとした道路施設の維持・補修などの老朽化対策などについて説明があった。

最後に、災害対策支援として、広島豪雨災害時の支援について具体例を挙げた説明があった。

2. 議事

(1) 報告事項

事務局より平成26年度上半期の委員会活動について報告を行った。

a. 関係機関との連携活動

- 中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会
 - 関門海峡道路建設促進協議会
 - 中国地方国際物流戦略チーム 等
- 道路、港湾といった社会基盤の整備促進のため、これらの活動に参画した。

b. 調査研究の実施状況

○講演会の開催

本格的な取り組みが開始される国土強靱化に対する理解を深めるため、7月31日に

内閣官房参与 藤井 聡 京都大学大学院教授による講演会を開催した。

○高速道路の開通による地域経済への波及効果・影響等に関する調査について

松江道の開通後の地域経済への波及効果・影響や道路利活用の実態を調査し、結果を取りまとめ、中間報告を上述の講演会に併せて行った。

(2) 審議事項

「平成26年度 中国地方の交通基盤の整備促進に向けた要望活動について」に関する審議を行い、以下の内容で承認された。

a. 要望活動の概要

実施予定日：平成26年12月2日(火)

内 容：地元選出国議員との懇談会や与党、政府・国土交通大臣ほかへの要望活動を予定。

※衆議院解散に伴い要望活動(政府・関係省庁等)は12月1日(月)に実施。

b. 要望事項

- ・山陰自動車道および中国横断自動車道の早期整備(ミッシングリンクの早期解消)による中国地方の一体的な発展に資する高規格幹線道路ネットワークの実現
- ・上記高規格幹線道路に加え、下関北九州道路(関門海峡道路)等の地域高規格道路の早期整備によるリダンダンシーの確保
- ・トンネル・橋梁等の長寿命化・老朽化・耐震対策、法面崩落防止等の防災対策の計画的実施による安全で安心な災害に強い道路の整備
- ・必要な道路整備に関する確実な財源の確保
(担当：中村)